

## 40303貨物軽自動車運送業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2019	1	5 ～ 6	社有車にて本社へ向かい運転中、交差点で信号待ちのため停車し、後方より走行してきた相手車に追突され、衝撃により頸部および胸部を負傷した。	30	17	231	10 ～ 29
2	2019	1	16 ～ 17	依頼先の荷物積込場でトラックに積み込み作業中、高さ95cmほどのトラックの荷台に飛び乗った際、左足が伸びきってしまい、左膝半月板に損傷を負った。	49	19	221	10 ～ 29
3	2019	2	20 ～ 21	配送先の倉庫前にて、トラックの荷台から空のパレットを降ろす作業を行っていた。引っ張り棒を使用し、5～6枚重ねてあったパレットを手前に引いたところ、強い力で引きすぎてしまい、勢い余って荷台から落ち右腕を負傷した。	37	1	221	10 ～ 29
4	2019	3	13 ～ 14	配送先の建設現場で、トラックの荷台から荷物を降ろす際、誤って右足首辺りに落とし、右足首を骨折した。	45	4	611	1～ 9
5	2019	3	3 ～ 4	店舗にて、トラック荷台のパワーゲートから地面に荷物の入ったカゴ車を降ろす際、縁石（25cm）があるため鉄板（縦、横1m）を縁石から地面に敷き（段差を緩和するため）、台車を両手で引いた際、雨で鉄板が濡れており、足が滑り転倒した。その際、肋骨を折った。	33	5	611	10 ～ 29
6	2019	4	8 ～	工事現場で鉄製ドアを職人と2人で運ぶとき、足下のブルーシートに足を取られ転倒、腰と背中を強打し、第1腰椎を圧迫骨折した。	66	2	529	1～ 9



15	2019	9	13 ～ 14	敷地内駐車場にて、タンクローリー車のタンクを点検中、車両に設置しているはしごを登り、タンク上部に右足をついた際、右足首をひねり骨折した。	43	19	221	30 ～ 49
16	2019	9	16 ～ 17	業務中に配送先の会社にて、4t車にケース物の荷物をバラシで積み荷をしていた。トラック荷台の上の方に荷物を持ち上げた際に肩を痛め、頸部痛、右手根管症候群、右テニス肘、右肩関節周辺炎を負った。	36	19	611	30 ～ 49
17	2019	10	3 ～ 4	トイレに行くためにトラックから降りて歩いていたところ、ドブ川に落下して顎を骨折した。	48	1	719	30 ～ 49
18	2019	11	9 ～ 10	回送先の現場で、回送車の前方を持ち上げてフォークリフトを降ろす作業をしていた。フォークリフトを固定しているウィンチのピンが外れていて、フォークリフトが後方に滑り落ち、本人は車体の横でリモコンを操作していて、滑ってきたフォークリフトの一部が頭部に当たり意識を失い、頬裂傷8針、頸椎圧迫、外傷性くも膜下出血、両肩打撲、首から下の痺れを負った。	38	2	222	1～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。